			L	/ 演習」
科	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
		後期	木3	1
	担当者 比嘉 昌哉	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		3年	比嘉研究室:5-418 mahiga@okiu.ac.jp	

ねらい

「スクールソーシャルワーク(以下、SSW)演習」では「SSW論」の内容を踏まえて、個別事例へのアセスメントはもちろんのこと学校、地域及び教育行政を把握し、地域全体をアセスメントする力を培う。また、SSW実践、特にミクロ・メゾ・マクロプラクティスについて体験的に習得する。さらに、記録の意義とスーパービジョンの重要はないではない。 び 要性について学ぶ。

メッセージ

である。 習」等を スクールソーシャルワーカー認定課程の第-スクールノーシャルワーカー 配足味性 リカー・プログラン これまでの「スクールソーシャルワーク論」「相談援助演習」等を踏まえて積極的に取り組んでほしい。COVID-19の影響でZoom等を活用してのオンライン授業になる場合もある。ポータル等大学からの 連絡をこまめに確認して下さい。

到達目標

 σ

準

備

社会福祉士に必要なソーシャルワークに関する知識やスキルを確認しつつ、加えてスクールソーシャルワークの独自の知識やスキル等 について理解することができる。その際、教育・学校現場の理解は必須といえる。

学びのヒント

授業計画(テーマ・時間外学習の内容含む)

- ①オリエンテーション : 「SSW演習」の目的、全国及び沖縄県のSSWr配置事業の現状 ②ソーシャルワークの価値 : 「社会福祉士の倫理綱領」、「SSWrの活動指針」 ③学校・地域のアセスメント : 学校、県・市町村教育委員会、教育センター、適応指導教室及び学校を支援す る人材
- ④ミクロプラクティス : 支援プロセス(アセスメント、プランニング、インターベンション等)、ソーシャルワ ークスキル
- : チームアプローチ、ケースマネジメント、校内ケース会議、拡大ケース会議
- :ケース会議の展開 DVD視聴
- ⑤メゾプラクティス その1 ⑥メゾプラクティス その2 ⑦マクロプラクティス :学 : 学外の社会資源の活用、市町村の子ども家庭相談体制、「連携」の意味、ソーシャル アクション
- ⑧事例から学ぶ その1⑨事例から学ぶ その2 : 実践事例集より: 実践事例集より
- ⑩記録 その1 ⑪記録 その2 : 記録の意義、データの蓄積、説明責任
- : エコマッフ
- 銀記録 そのと エコマック⑫スーパービジョン・評価 : 効果測定、スーパービジョン体制の確立⑬実践事例 その1 : あるSSWrの実践 DVD視聴⑭実践事例 その2 : 修復的対話 DVD視聴

- 15実践事例 その3 : ゲストスピーカー 現役SSWrから
- **16まとめ**

テキスト・参考文献・資料など

- 山野・野田・半羽編著 (2016); 『よくわかる スクールソーシャルワーク』、ミネルヴァ書房。 ①金澤・奥村・郭・野尻編著 (2016); 『スクールソーシャルワーカー実務テキスト』、学事出版。 ②米川編著 (2015); 『スクールソーシャルワーク実習・演習テキスト』、北大路書房。 ③門田・奥村監修 (2014); 『スクールソーシャルワーカー実践事例集』、中央法規。

学びの手立て

スクールソーシャルワークに関する情報はもちろんのこと、常に教育に関わる諸問題には関心をもち学んでほしい。授業時のみの学びでは足りないため、可能な限りボランティア活動等を通して学校現場とつながりをもつこと。加えて、学内外で行われる講演会・研修会等にも積極的に参加すること。

評価

出席は平常点とし、授業態度(20%)、レポート(80%)等を総合して評価する。

次のステージ・関連科目

次学期の「スクールソーシャルワーク実習指導」に進めるように積極的に取り組むこと。 関連科目:「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」「スクールソーシャルワーク論」その他、社会福 祉士関連科目等。

学

び

0 実

践

学 Ü \mathcal{D} 継 続